



2021年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年10月13日

上場会社名 ワンダープラネット株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4199 URL <https://wonderpla.net/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 常川 友樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐藤 彰紀 TEL 052-265-8792
 定時株主総会開催予定日 2021年11月26日 配当支払開始予定日 2021年11月29日
 有価証券報告書提出予定日 2021年11月26日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年8月期の業績（2020年9月1日～2021年8月31日）

（1）経営成績

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	3,585	4.4	260	△21.7	261	△21.4	825	268.1
2020年8月期	3,433	20.2	332	—	331	—	224	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年8月期	397.24	393.17	48.4	8.6	7.3
2020年8月期	110.87	—	24.1	16.1	9.7

（参考）持分法投資損益 2021年8月期 ー百万円 2020年8月期 ー百万円

（注）2020年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期	3,711	2,365	63.7	1,080.25
2020年8月期	2,377	1,043	43.9	△2,535.82

（参考）自己資本 2021年8月期 2,365百万円 2020年8月期 1,043百万円

（注）2020年8月期の1株当たり純資産については、優先株主に対する残余財産の分配額を控除して算定しております。

（3）キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年8月期	17	83	684	1,847
2020年8月期	—	—	—	—

（注）2020年8月期は連結財務諸表を作成しており、キャッシュ・フロー計算書を作成していないため、2020年8月期のキャッシュ・フローの状況については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年8月期	—	0.00	—	3.50	3.50	7	0.9	—
2022年8月期（予想）	—	0.00	—	0.00 ～6.50	0.00 ～6.50	—	—	—

（注）2022年8月期の配当予想については、レンジ形式により開示しておりますので配当性向は記載しておりません。

3. 2022年8月期の業績予想（2021年9月1日～2022年8月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,200 ～4,800	17.1 ～33.9	△200 ～200	— ～△23.3	△200 ～200	— ～△23.4	△130 ～130	— ～△84.3	△59.36 ～59.36

（注）1. 当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の業績予想の記載を省略しております。
 2. 2022年8月期の業績予想については、レンジ形式により開示しております。詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。
 3. 当社は2021年10月13日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。2022年8月期の業績予想における「1株当たり当期純利益」については、取得株式数が現時点では予想できないため、当該影響を考慮しておりません。

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年8月期	2,189,712株	2020年8月期	2,022,488株
2021年8月期	－株	2020年8月期	－株
2021年8月期	2,077,965株	2020年8月期	2,022,488株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況

（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料は、本日TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(持分法損益等)	11
(セグメント情報)	11
(1株当たり情報)	12
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度においては、新型コロナウイルスの感染拡大や緊急事態宣言により先行きが不透明な状況が継続する中、日本国内ではワクチン接種の進展や緊急事態宣言の解除により、個人消費や企業活動の持ち直しが期待されるものの、変異ウイルスの拡大懸念等、不確実性の高い状況が続いています。当社が事業展開するエンターテインメントサービス関連の市場においては、環境や嗜好の変化等のスピードがますます速くなるとともに、グローバル市場における競争が激化することが予想されます。

このような中、当社では、2020年2月以降、当社従業員や当社に關係する皆様の安全や健康と、事業の継続性を確保するため、リモートワーク等の「新しい働き方」とそれに付随する各種施策を推進しており、「新しい働き方」移行後も、当社サービスの開発・運営に特段の影響なく、安定的に事業推進しております。

当社のエンターテインメントサービス事業においては、当社オリジナルタイトル「クラッシュフィーバー」のユーザー満足度向上に努め、日本国内のみでなく同タイトルの繁体字版、英語版による海外展開も推進し、同タイトルの中長期的な運営に取り組んでおり、全世界のダウンロード数は1,300万を突破し、ユーザー数は引き続き安定的な推移となりましたが、6周年イベントの反動減がみられ、想定通りの効果が得られない状況がありました。また、LINE株式会社との協業タイトル「ジャンプチ ヒーローズ」も、日本版及び繁体字版を配信しており、全世界のダウンロード数は1,700万を突破しているものの、下半期以降、ユーザー獲得が想定通りに得られていない推移が続きました。さらに、2020年9月には株式会社サムザップとの協業タイトル「この素晴らしい世界に祝福を！ファンタスティックデイズ繁体字版」の配信を開始し、ダウンロード数は100万を突破しているもののユーザー数は減少傾向が続いております。

そのような状況の中、継続的なゲーム内イベントの実施や機能改善によりリリース済タイトルから創出された利益金額^(注1)は622,452千円となりました。一方で、新規開発^(注2)にも注力しており、中長期的な収益の拡大に向けた開発投資を行っており、今後の新たなリリースに向けた新規タイトルへの開発投資金額^(注3)については当事業年度において361,834千円となりました。

以上の結果、当事業年度の売上高は3,585,606千円（前年同期比4.4%増）、営業利益は260,618千円（前年同期比21.7%減）、経常利益は261,057千円（前年同期比21.4%減）、当期純利益は825,457千円（前年同期比268.1%増）となりました。

- (注) 1. リリース済タイトルの売上高から、プラットフォーム手数料、サーバー費用、運営に係る人件費、外注費、諸経費、及び全社経費を控除した金額。
2. 当社では、会計上、アプリ・ゲームの新規開発費用を貸借対照表に資産計上せず期間費用としており、ソフトウェア資産計上をしないことで、将来の減損リスクが低減されていると認識しております（開発にあたり一部仕掛品として資産計上しているものがあります）。
3. 新規開発タイトルに係る人件費、外注費、諸経費、及び全社経費を合計した金額。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末の流動資産は2,691,340千円となり、前事業年度に比べ763,086千円増加しました。これは主に、現金及び預金が785,460千円増加したことによるものであります。

固定資産は1,019,925千円となり、前事業年度に比べ570,872千円増加しました。これは主に、繰延税金資産が641,622千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,711,265千円となり、前事業年度に比べ1,333,958千円増加しました。

(負債)

当事業年度末の流動負債は1,137,464千円となり、前事業年度に比べ167,533千円減少しました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が194,542千円、未払法人税等が102,078千円増加したものの、未払金が242,601千円、短期借入金が177,247千円減少したことによるものであります。

固定負債は208,345千円となり、前事業年度に比べ179,595千円増加しました。これは、長期借入金が179,595千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,345,809千円となり、前事業年度に比べ12,061千円増加しました。

(総資産)

当事業年度末の純資産は2,365,456千円となり、前事業年度に比べ1,321,897千円増加しました。これは主に、資本金及び資本準備金がそれぞれ248,207千円、当期純利益の計上により利益剰余金が825,457千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,847,322千円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりです。なお、前事業年度（2019年9月1日から2020年8月31日まで）は連結財務諸表を作成しており、キャッシュ・フロー計算書を作成していないため、キャッシュ・フロー計算書に係る比較情報は記載しておりません。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、17,034千円となりました。これは主に、未払金の減少額231,584千円、たな卸資産の増加額93,685千円による支出があったものの、税引前当期純利益の計上261,057千円、前受金の増加額36,187千円、売上債権の減少額34,628千円による収入があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は、83,518千円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出19,998千円、差入保証金の差入による支出5,834千円があったものの、差入保証金の回収による収入108,108千円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は、684,908千円となりました。これは主に、短期借入金の純減額による支出177,247千円、長期借入金の返済による支出125,863千円があったものの、長期借入れによる収入500,000千円、株式の発行による収入495,365千円があったことによるものです。

(4) 今後の見通し

2022年8月期の業績見通しについては、当社が属する業界の変化が大きく競合他社も多く存在すること、新規タイトルのリリース時期や業績動向を踏まえた合理的な数値の算定が困難であることから、通期業績予想をレンジ形式で開示いたします。

新事業年度においては、引き続き既存タイトルの安定的な運営に注力すると共に、中長期的な成長に向けた投資を継続し、新規タイトルのリリースに向けた開発を加速いたします。

（売上高）

- ・主要タイトルは、直近業績およびKPIを勘案し、「クラッシュフィーバー」は横ばい～減収減益、「ジャンプチ ヒーローズ」、「この素晴らしい世界に祝福を！ファンタスティックデイズ繁体字版」は減収減益を想定しています。
- ・「名古屋スタジオと東京スタジオが共同で新規開発中のタイトル（詳細後述）」のリリースを22/8期4Qに見込んでおり、売上高を加味しております。

（費用、その他）

- ・新規タイトルの開発費（主に人件費、外注費）およびリリースに伴う広告宣伝費、体制強化に伴う人件費（販管費）および採用関連費用の増加を想定しています。
- ・当期純利益については、税効果会計の影響による特殊要因は見込まず、法人実効税率を使用して算定しています。

（準備中タイトルの状況）

① 開発コードネーム『DELIGHT（ディライト）』

- ・名古屋スタジオと東京スタジオが共同で新規開発中のタイトル
- ・22/8期4Qのリリースに向けて開発中
- ・自社パブリッシングによるフラッグシップタイトル
- ・名古屋スタジオの開発力と東京スタジオのグローバル展開力を活かして、ワールドワイドに同時配信・同時運営を行う予定
- ・22/8期2Q内（2021年12月～2022年2月）にクローズドβテスト（CBT）を予定

② 協業パートナーによる当社既存タイトルの海外エリア拡大

- ・対象エリアは中国
- ・リリース予定は未定

③ サイバーエージェント等と共同のメディアミックスプロジェクト（受託）

- ・22/8期内にプロジェクトの正式発表予定

これらの状況を踏まえ、2022年8月通期業績予想を以下のとおりといたします。

売上高 4,200～4,800百万円
営業利益 △200～200百万円
経常利益 △200～200百万円
当期純利益 △130～130百万円

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、国際会計基準に基づく財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき財務諸表を作成しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当事業年度 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,061,861	1,847,322
売掛金	603,375	568,746
仕掛品	126,117	219,803
前払費用	45,267	37,855
その他	91,631	17,612
流動資産合計	1,928,253	2,691,340
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	17,261	16,703
工具、器具及び備品（純額）	22,120	18,772
有形固定資産合計	39,381	35,476
投資その他の資産		
投資有価証券	574	574
繰延税金資産	311,183	952,805
その他	97,914	31,068
投資その他の資産合計	409,671	984,448
固定資産合計	449,053	1,019,925
資産合計	2,377,306	3,711,265

（単位：千円）

	前事業年度 (2020年8月31日)	当事業年度 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	107,750	90,469
短期借入金	177,247	—
1年内返済予定の長期借入金	34,200	228,742
未払金	509,074	266,473
未払費用	—	721
未払法人税等	3,378	105,457
前受金	394,697	430,885
預り金	9,139	9,731
賞与引当金	—	4,984
その他	69,510	—
流動負債合計	1,304,997	1,137,464
固定負債		
長期借入金	28,750	208,345
固定負債合計	28,750	208,345
負債合計	1,333,747	1,345,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	348,207
新株式申込証拠金	—	24
資本剰余金		
資本準備金	707,292	955,500
資本剰余金合計	707,292	955,500
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	236,266	1,061,723
利益剰余金合計	236,266	1,061,723
株主資本合計	1,043,559	2,365,456
純資産合計	1,043,559	2,365,456
負債純資産合計	2,377,306	3,711,265

（2）損益計算書

（単位：千円）

	前事業年度 （自 2019年9月1日 至 2020年8月31日）	当事業年度 （自 2020年9月1日 至 2021年8月31日）
売上高	3,433,893	3,585,606
売上原価	2,536,341	2,779,566
売上総利益	897,551	806,040
販売費及び一般管理費	564,601	545,422
営業利益	332,950	260,618
営業外収益		
為替差益	1,253	3,066
補助金収入	207	7,412
物品売却益	302	816
その他	216	441
営業外収益合計	1,978	11,736
営業外費用		
支払利息	2,932	2,875
株式交付費	—	1,050
上場関連費用	—	7,371
営業外費用合計	2,932	11,297
経常利益	331,997	261,057
特別損失		
固定資産除却損	2,136	—
投資有価証券評価損	2,155	—
関係会社株式評価損	8,000	—
関係会社清算損	13,828	—
賃貸借契約解約損	8,000	—
特別損失合計	34,121	—
税引前当期純利益	297,876	261,057
法人税、住民税及び事業税	3,378	77,223
法人税等調整額	70,262	△641,622
法人税等合計	73,640	△564,399
当期純利益	224,235	825,457

売上原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)		当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 労務費	※1	947,902	36.1	1,022,490	35.6
II 経費		1,676,134	63.9	1,850,761	64.4
当期総製造費用		2,624,037	100.0	2,873,251	100.0
期首仕掛品たな卸高		38,422		126,117	
合計		2,662,459		2,999,369	
期末仕掛品たな卸高		126,117		219,803	
当期売上原価		2,536,341		2,779,566	

(注) ※1 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
プラットフォーム手数料 (千円)	835,204	870,936
外注費 (千円)	636,656	836,505

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、実際原価による個別原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2019年9月1日 至 2020年8月31日）

（単位：千円）

	株主資本		
	資本金	資本剰余金	
		資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	100,000	707,292	707,292
当期変動額			
当期純利益			
当期変動額合計	—	—	—
当期末残高	100,000	707,292	707,292

	株主資本			純資産合計
	利益剰余金		株主資本合計	
	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
	繰越利益剰余金			
当期首残高	12,030	12,030	819,323	819,323
当期変動額				
当期純利益	224,235	224,235	224,235	224,235
当期変動額合計	224,235	224,235	224,235	224,235
当期末残高	236,266	236,266	1,043,559	1,043,559

当事業年度（自 2020年9月1日 至 2021年8月31日）

（単位：千円）

	株主資本			
	資本金	新株式申込証拠金	資本剰余金	
			資本準備金	資本剰余金合計
当期首残高	100,000	—	707,292	707,292
当期変動額				
新株の発行	92,206		92,206	92,206
新株の発行（新株予約権の行使）	156,001		156,001	156,001
新株式申込証拠金の払込		24		
当期純利益				
当期変動額合計	248,207	24	248,207	248,207
当期末残高	348,207	24	955,500	955,500

	株主資本			純資産合計
	利益剰余金		株主資本合計	
	その他利益剰余金	利益剰余金合計		
	繰越利益剰余金			
当期首残高	236,266	236,266	1,043,559	1,043,559
当期変動額				
新株の発行			184,412	184,412
新株の発行（新株予約権の行使）			312,003	312,003
新株式申込証拠金の払込			24	24
当期純利益	825,457	825,457	825,457	825,457
当期変動額合計	825,457	825,457	1,321,897	1,321,897
当期末残高	1,061,723	1,061,723	2,365,456	2,365,456

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前当期純利益	261,057
減価償却費	12,887
賞与引当金の増減額（△は減少）	4,984
受取利息及び受取配当金	△13
支払利息	2,875
株式交付費	1,050
上場関連費用	7,371
固定資産売却益	△426
物品売却益	△816
売上債権の増減額（△は増加）	34,628
たな卸資産の増減額（△は増加）	△93,685
未収入金の増減額（△は増加）	23,146
仕入債務の増減額（△は減少）	△17,281
未払金の増減額（△は減少）	△231,584
前受金の増減額（△は減少）	36,187
その他	△17,063
小計	23,316
利息及び配当金の受取額	13
利息の支払額	△2,875
法人税等の支払額	△3,421
法人税等の還付額	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,034
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△19,998
有形固定資産の売却による収入	427
差入保証金の差入による支出	△5,834
差入保証金の回収による収入	108,108
その他	816
投資活動によるキャッシュ・フロー	83,518
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	△177,247
長期借入れによる収入	500,000
長期借入金の返済による支出	△125,863
株式の発行による収入	495,365
上場関連費用の支出	△7,371
その他	24
財務活動によるキャッシュ・フロー	684,908
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	785,460
現金及び現金同等物の期首残高	1,061,861
現金及び現金同等物の期末残高	1,847,322

（5）財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（持分法損益等）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社はエンターテインメントサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり純資産額	△2,535.82円	1,080.25円
1株当たり当期純利益	110.87円	397.24円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	393.17円

- (注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であり、期中平均株価が把握できないため記載しておりません。
2. 前事業年度の1株当たり純資産については、優先株主に対する残余財産の分配額を控除して算定しております。
3. 当社は2021年6月10日に東京証券取引所マザーズ市場に上場したため、当事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、新規上場日から当事業年度末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
4. 2021年2月25日付及び2021年3月15日付で、全ての優先株式を自己株式として取得し、対価として当該優先株主に各優先株式1株につき普通株式1株を交付しております。また、2021年2月25日付及び2021年3月15日付で当該優先株式を消却しております。
5. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当事業年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益（千円）	224,235	825,457
普通株主に帰属しない金額（千円）	－	－
普通株式に係る当期純利益（千円）	224,235	825,457
普通株式の期中平均株式数（株）	2,022,488	2,077,965
（うち普通株式（株））	(805,000)	(1,453,963)
（うちA種優先株式（株））	(95,000)	(50,753)
（うちB種優先株式（株））	(150,000)	(72,740)
（うちC種優先株式（株））	(249,000)	(120,748)
（うちD種優先株式（株））	(214,000)	(103,775)
（うちE種優先株式（株））	(278,700)	(148,895)
（うちF種優先株式（株））	(51,300)	(27,407)
（うちG種優先株式（株））	(179,488)	(99,684)
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額（千円）	－	－
普通株式増加数（株）	－	21,524
（うち新株予約権（株））	(－)	(21,524)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権9種類（新株予約権の数169,946個）	－

- (注) 1株当たり当期純利益の算定上、種類株式はその株式の内容より「普通株式と同等の株式」として取り扱っていることから、普通株式に含めて計算しております。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2021年10月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

資本効率の向上及び経営環境の変化に対応した機動的な資本政策等の遂行とともに、効率的な株主還元を行うため。

2. 取得に係る事項の内容

- ① 取得対象株式の種類 当社普通株式
- ② 取得し得る株式の総数 100,000株（上限）
(発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 4.6%)
- ③ 株式の取得価額の総額 100,000千円（上限）
- ④ 取得期間 2021年10月14日～2022年1月14日
- ⑤ 取得方法 東京証券取引所における市場買付（取引一任契約に基づく市場買付）